

2023 年度第 6 回 外洋常任委員会 議事録

1. 開催日；2024 年 2 月 23 日（金）18:00～19:15

2. 会議の場所及び方法：ZOOM 会議

出席者：(理事)

中澤信夫 副会長、中村隆夫 副会長、安藤淳 専務理事、大村雅一 常務理事、
望月宣武 常務理事、石川彰 理事、井上貴史 理事、岩瀬喜貞 理事、
鈴木祥子 理事、中村和哉 理事、沼田浩行 理事、船澤泰隆 理事、
(委員会関係)

日下部大蔵 ルール委員会外洋規則小委員長、川合紀行 外洋計測委員長
坂谷定生 参与

(敬称略)

記録者 鈴木保夫

3. 議事

18:00 より中澤副会長の開会の挨拶の後、大村常務理事の進行で開始した。

(1) 理事改選、評議員改選関係

大村常務理事より、水域理事の推薦手続き、評議員改選手続き及びその日程が説明された。

(2) 外洋系委員会の 2024 年度の事業計画、予算（1 月 18 日の外洋常任委員会に報告の無かった委員会）

当該委員会が欠席のため報告はされなかった。

(3) World Sailing 追加情報

鈴木祥子理事より、2024 年外洋ダブルハンド世界選手権の開催が決定し、使用艇は Sun Fast30、今年はロリアン、来年はカウズ、2026 年の開催地は未定。この間の参加国数や参加艇数を評価してその後の計画が決定されるようである。との報告があった。

(4) 外洋合同委員会(2/3)開催報告

ルール委員会外洋規則小委員会日下部委員長より以下の報告がなされた。

前回 2019 年の函館の会議以来 Web のみの開催であったが、今回は会場参加（Web との併用）で開催した。

今回は参加人数の不安から講習会は断念した。

今後参加者の連絡先を整理したい。

会議に参加した鈴木祥子理事より以下の発言があった。

中身の濃い講習会を行っていると感じた。RYA では YouTube などのデジタルツールを利用している、そうすれば JSAF の外でも情報が共有できると感じた。続いて日下部委員長より、今回の会議の反省から資料を早く配布するようにする。

大村：団体から合同会議の議題等の案内が早いと良かった、との意見が寄せられている。

(5) 各委員会からの報告

- ・川合外洋計測委員長：IRC の証書の申込は今日現在 155 艇、発行は 88 件。ORC は 2 月 22 日より受付を開始、運用は 4 月からとなる。
- ・日下部ルール委員会外洋規則小委員長：今年はルールの改選年度であるので情報を共有するようにする。
- ・外洋常任委員会 大村：2 月 23、24、25 日の 3 日間で前回申込んだ人と、パラオレース参加者を対象にシティーマリーナベラシスでサバイバルトレーニングを開催している。2024 年度は 6 月、9 月、11 月の 3 回の開催を予定している。

(6) 各水域からの報告

北海道・東北水域

石川理事：今年は青函カップレースが 37 回目となる。高齢化に伴い先行きの運営に不安がある。また参加艇が減ってきている。明日の東北 6 県の東北セーリング連盟の会議にオブザーバーで参加する。

関東水域

井上理事：今年度のレースはほぼ終了し、来年度のレースの調整を行っている。東京湾においては日程調整が終了した。

中部水域

岩瀬理事：駿河湾は例年通り。沖縄―東海レースは与那原スタートとなる。五か所湾レースは昨年参加艇が少なく中止となった。今年は参加し易いように距離を 35 マイル程度に短くして武豊―津レースとして開催する。

関西水域

中村和哉理事：特に大きな動きはない。レースは例年通りとなる。

九州・沖縄水域

沼田理事：団体長会議での報告後大きな変化はない。

外洋沖縄ではパラオー沖縄レースの準備が始まっている。

外洋南九州、外洋玄海では例年通りのレーススケジュールとなっている。

外洋玄海では 5 月のアリランレースの申込受付を開始した。

大村常務より、岩瀬理事と日下部ルール外洋規則小委員会委員長と進めているクラブへの支援について、馬場会長がクラブを回った時に配布できる資料の作成をお願いする発言がなされた。

(7) 2/24 理事会の内容

大村常務より、理事会の議題の概略が説明された。

(8) その他

船澤理事より、エネオス事業の 2024 年度の企画案を進めていること及び、望月常務より理事会において情報プラットフォームについて説明することが報告された。

最後に中村副会長のべの挨拶で閉会となった。

以上